

## ＜担当教科欄の入力方法について＞

①担当教科コード一覧表により、該当するコードを入力すること。

- ・例えば、「生物」は“科目”の名称であり、生物は単位認定の際、「理科」という“教科”として認定しているため、記入にあたっては、理科のコードを入力すること。
- ・「どの教科の単位として単位認定しているか否か」で判断し、該当コードを入力すること。

(例) 

パソコン
------

 → 「工業」という教科の科目として、単位認定 → 工業 と入力。  
→ 「商業」 → 商業  
→ 「数学」 → 数学

②下に掲げる教科については、次のとおり判断し、教科コードを入力すること。

学習指導要領などの記載		基礎資料調査の担当教科欄への記載 (教科として、下記のとおり入力)
教科名	科目名	
保健体育	体育	<u>体育</u> （「体育」の授業のみ担当している場合）
	保健	<u>保健</u> （「保健」の授業のみ担当している場合）
		<u>保体</u> （「両方」の授業を担当している場合）
芸術	工芸Ⅲ 等	<u>工芸</u>
	書道Ⅰ 等	<u>書道</u>
	音楽Ⅱ 声楽 等	<u>音楽</u>
	美術Ⅰ 造形 等	<u>美術</u>
外国語	英語Ⅱ A L L 演習 等	<u>英語</u>
	英語以外の外国語	<u>外国語</u>

③特殊なケース（担当教科欄には何も入力せず「空白」とすること）

- ・当該教科の一部（実習など）の時間のみを担当しており、教科の単位認定は別の教員が行っている場合など

(例) ・「コンピューター（教科＝商業で単位認定）」の、実習の時間のみを受け持っている。  
・保健体育科の、柔道の時間のみを受け持っている。

④「社会」については、平成2年4月1日に施行された「教育職員免許法の一部を改正する法律」により、平成6年度入学生から「地歴」と「公民」に分割されたので、高等学校の「社会」担当教員については、担当教科欄に「地歴」又は「公民」のコードを記入すること。